

小嶺俊太

2024年3月、私は国際プログラムの一環として、国立台湾師範大学とのワークショップに参加しました。ワークショップのテーマは、「デザインを通じてSTEM/STEAM教育の革新的な方法を探求する」で、芸術工学部の国際プログラムから9人の学生と台湾師範大学からも同じく9人の学生が参加しました。

ワークショップでは、台湾の公立の小学校や高校を訪れてSTEAM教育について学び、現在の教育における課題をSTEAM教育を活用して解決する方法についてディスカッションし、プレゼン発表をしました。学校訪問では、教育現場でのSTEAMの実践を観察することができました。自由時間には、台湾師範大学の学生が私たちをナイトマーケットやレストラン、大学の近くの観光地などに案内してくれて、台湾の文化や料理を楽しむ機会も持つことができました。

ワークショップを通じて感じたことは、台湾の政府が教育に多くの資金を投じていることでした。訪れた学校は、最先端のデジタル機器などを活用したSTEAM教育を行うための設備が整っており、教育に対する台湾の取り組みの熱意や意欲を感じました。これにより、日本との大きな差を実感しましたが、同時に台湾が教育に対する真剣な姿勢を持っていることに感銘を受けました。

ワークショップ後の休日には、台湾の学生の一人であるイェンカイが私たちの観光を案内してくれました。国立故宮博物館では、中国や台湾の歴史的な展示物を見ることができ、台北市立動物園では台湾固有の動物を観察しました。イェンカイの案内のおかげで、スムーズに移動でき、台湾の文化や生活について多くのことを学ぶことができました。

今回の台湾での経験を通して一番心に残っているのは、台湾の学生たちの優しさです。参加していた台湾の学生全員が私たちを歓迎してくれ、親切に接してくれました。彼らの温かいおもてなしと友好的な態度のおかげで、私たちの台湾での経験はさらに特別なものになりました。



最終発表



台湾の学生と行った動物園での写真